

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2022年4月14日

事業ID:2020556581

事業名:シーバードプロジェクトの推進

団体名:特定非営利活動法人日本青バイ隊

代表者名:理事長 野口英親 印

TEL:0955-27-0118

事業完了日:2022年3月31日

■契約時

事業費総額	:	1,620,000 円
自己負担額	:	0 円
助成金額	:	1,620,000 円

■箇所は【フォーム】収支計算書より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	1,636,276 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	16,276 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	1,620,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1.シーバード設置候補地の視察と発足式への参加
 (1)時期:2021年4月~2022年3月
 (2)場所:シーバード設置候補地
 (3)対象者:日本青バイ隊メンバー
 (4)内容:持続可能な拠点運営に向けた情報提供

(2)事業完了時の事業内容(実績)

2021年
 4月24日シーバード新宮開所式
 4月24日シーバード福岡開所式
 4月24日シーバード有明との情報交換、提供
 11月4日東日本ガレッジで持続可能な拠点運営の情報提供
 11月18日西日本ガレッジで持続可能な拠点運営の情報提供
 12月2日九州ガレッジで持続可能な拠点運営の情報提供



(3)成功したこととその要因

シーバード設置候補地の視察と発足式への参加 SB新宮、福岡開所式。SB東日本地区、SB西日本地区、SB九州地区へ情報提供ができた。コロナ禍であってもしっかり対策を立てたことが成功の要因でした。

(4)失敗したこととその要因

なし

(5)事業内容詳細

別紙

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2.シーバードジャパン総会、幹事会への参加
(1)時期: 2021年4月~2022年3月
(2)場所: 日本財団ビル他
(3)対象者: 日本青バイ隊メンバー
(4)内容: 自治体、公務救難機関とのネットワーク構築等、
シーバード事業に関するノウハウの共有



(2)事業内容の実施(完了)状況

4月23日シーバードジャパン 新宮会議
9月14日シーバードジャパン 熊本会議
10月4日シーバードジャパン 東京会議
10月27日シーバードジャパン 熊本会議
11月4日東日本ガレッジで海上保安部とネットワーク構築、
シーバード事業に関するノウハウ共有
11月18日西日本ガレッジで海上保安部とネットワーク構築、
シーバード事業に関するノウハウ共有
12月2日西日本ガレッジで海上保安部とネットワーク構築、
シーバード事業に関するノウハウ共有
12月13日シーバードジャパン 東京会議
2022年3月4日 シーバードジャパン 博多会議

(3)成功したこととその要因

東日本地区、西日本地区、九州地区で海上保安庁と第七管区海上保安部とネットワーク構築、シーバード事業に関するノウハウの共有ができた

(4)失敗したこととその要因

なし

(5)事業内容詳細

別紙

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

[Empty box for (1) Contract content]



(2)事業内容の実施(完了)状況

[Empty box for (2) Implementation status]

(3)成功したこととその要因

[Empty box for (3) Success factors]

(4)失敗したこととその要因

[Empty box for (4) Failure factors]

(5)事業内容詳細

[Empty box for (5) Detailed content]

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

--

(2)事業内容の実施(完了)状況

--



(3)成功したこととその要因

--

(4)失敗したこととその要因

--

(5)事業内容詳細

--

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- 1.新設SB開所式への全ての参加、新規拠点へSBのやり方を伝える。
- 2.SB拠点との意見交換、新海上安全指導制度等
- 3.シーバードジャパン総会、幹事会は全て参加する

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	195	文字数チェック	OK
SB拠点開所式へ全て参加する……シーバード新宮、シーバード福岡に参加した。 SB拠点との意見交換……東日本地区、西日本地区、九州地区で意見交換ができた。 シーバードジャパン幹事会の会議には全て参加した。			

3.事業実施によって得られた成果

シーバードジャパン会議へ出席し、各拠点も視察し意見交換も行き2022年度もシーバードプロジェクトを継続する。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

新たな海上安全指導制度に向けガレッジを開催したが内容が把握出来ていない拠点もある、また県境を超えない要請で受講できない拠点もあるので2022年度も続けて開催する対応をとりたい。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

シーバードプロジェクトの推進

(2)事業完了時の成果物名称

シーバードプロジェクトの推進
海上保安庁と一緒に海の安全活動を行っていきいたい
なので地域になくてはならないシーバード、日本に
なくてはならないシーバードに推進していきいたいし
出来ると考えている。



(3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf (なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)

上記で登録したURLをご記載ください。